

大学生が現地体験

近畿エリアや東京、広島の大學生が8月19～21日の3日間、岡山、広島、山口、広島、香川、愛媛の瀬戸内エリア5県を訪れ、各地の観光素材を体験するとともに地元と交流を深めた。JR西日本が自治体や大学と共同展開する「瀬戸内カレッジ」の一環で、参加学生は今後、現地の情報発信や地域の課題解決につながる提案を行っていく。

(柴田 恭輔記者)

JR西日本「瀬戸内カレッジ」 情報発信と課題解決へ



「カレッジ」は産官学 策を探る。の取り組みとして2012年度開始。若者視点をさらに地域の素晴らし活用した地域活性化、旅ニスタグラムで発信。自需要喚起、学生の成長 治体側は体験実習の行程機会の創出を目的に、この検討や手配、アテンドれまで北陸、南九州、新など学生のサポートを行瀧エリアなどで展開している、JR西日本はカレッジきた。参加学生は対象地ジの全体運営やPRなど域に出向き、体験実習をプロモーションを担当。通じて新たな魅力を発見 実習終了後の成果報告会するとともに、地元の課で、学生は自由な発想で題を深掘りして解決の方 地元の課題解決につながるアイデアを提案する。

福山・仙酔島で海上を走る自転車「アメンボサイクリング」を楽しむ（清泉女子大学）



吉備津神社で神職から説明を受け、地域の歴史について理解を深める（神戸松蔭女子学院大学）



山口市内の果樹園でリンゴ狩りやジャムづくりを体験（関西大学）



戦国時代―江戸期に塩飽水軍の本拠地として栄えた丸亀・本島で、当時の朱印状などを展示する塩飽勤番所跡を視察（広島経済大学）



大洲エリアでの現地体験実習を前にミーティングを行う（和歌山大学）



愛媛名物の鯛（たい）めしに舌鼓を打つ（流通科学大学）



倉敷市玉島の曹洞宗の古刹（こさつ）、円通寺で座禅を体験（関西大学）

に選定。JR西日本のほかに、倉敷・岡山ぐるりんバス連携協議会、せとうち旅情実行委員会、瀬戸内ベンション・ビューロ、丸亀市観光協会、キ学、神戸松蔭女子学院大市児島地区、同玉島地区、福山市、尾道市、呉市、竹原市・三原市・東広島市、松山市・広島市・呉市・廿日市市、山口市、高松市、丸亀市、大洲市の11コースに分かれて現地を視察した。このうち岡山市内を中心に巡った神戸松蔭女子学院大学の学生は、桃太郎のモデルとされる大吉のモデルとされる南都と各地備津彦命を祭る吉備津彦神社や鳴釜神社で有名な吉備津神社、童話「桃太郎」のもとと言われる温羅伝承が残る鬼ノ城などを視察し、備前焼やモモ狩りなどを体験した後、観光列車「ラ・マルドポア」に乗り込んだ。また、山口市内を訪れた

た関西大学の学生はサーフボードに立ってパドルで水面を進むSUP（スタンドアップパドルボード）を体験し、港町として栄えた阿知須浦地区の展示施設「阿知須いぐらの館」、国宝の五重塔を擁する瑠璃光寺、美しい奇勝の長門峡、地元の酒造り果樹園などを視察した。

岡山市コースに参加した神戸松蔭女子学院大学都市生活学科3年の横澤朋美さんは「桃太郎伝説に関係の深いスポットで聞いた逸話の数々に、ただただ驚くばかりでした。また、地元の方々から心温まるおもてなしを受け、皆さんの優しさに心が癒やされました」と感想を話していた。

山口市コースを巡った関西大学商学部3年の橋本里紗さんは「山口は自然豊かな北部、温泉と歴史の中部、瀬戸内の恵み学院大学の学生は、桃太郎のモデルとされる南都と各地備津彦命を祭る吉備津彦神社や鳴釜神社で有名な吉備津神社、童話「桃太郎」のもとと言われる温羅伝承が残る鬼ノ城などを視察し、備前焼やモモ狩りなどを体験した後、観光列車「ラ・マルドポア」に乗り込んだ。また、山口市内を訪れた